

## 長浜市総合計画第3期基本計画の素案について

### 1 計画策定の進め方

長浜市総合計画基本計画は、市の最上位に位置する計画として、市の施策全体を体系化し、各分野別計画の総合調整を果たしながら、効果的に進捗管理を行う位置づけの計画であることから、市長政策提言、各個別計画等の内容、及び各種施策の取組方針等をふまえ、庁内の各部局において第2期計画の記載内容を検証するとともに、総合計画審議会における審議や市民参画による意見を反映し、計画素案を策定しました。

### 2 計画素案策定のポイント

計画素案の策定にあたり、各項目におけるポイントとなった事項は以下のとおりです。

#### 1. まちづくりの重点プロジェクト

- ・「長浜市に暮らす若者が、現在も、将来も魅力を感じられるまちを創る」ことを目指し、本市の多様な地域資源をはじめとする「長浜らしさ」を生かして、「しごと」「ひと」「まち」の好循環を図る4つのプロジェクトを設定。
- ・本市の社会経済の自律的な成長を確保するため、若者の人口増加に効果が発揮され、「住みやすいまち」「発展するまち」の実現に向けてスピード感をもって取り組む。
- ・チャレンジし、活躍できる環境を長浜市に関わる全ての人でつくり上げていくことを目指すとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の実現モデルとなる取組に配慮しながら、人口が減少しても持続的なまちづくりの検討を進める。

#### 2. まちづくりの政策

- ・総合計画審議会における審議や市民参画の仕組（長浜市政「挑戦と創造」の懇話会、市民意識調査、タウンミーティング等）を活用した意見を反映。
- ・長浜大改革の市長政策提言や、施策ごとに策定している各個別計画等の策定内容、各部局の施策の取組状況や今後の方向性等を反映。

#### 3. 計画の推進に向けて

- ・第3次行政改革大綱の理念や基本方針について、現状の取組に改めた上で、一体的に推進できるよう計画に盛り込み。
- ・総合計画の多くの取組がSDGs（持続可能な開発目標）と合致するため、一体的に推進できるよう計画に反映。

### 3 長浜市総合計画第3期基本計画（素案）

別紙のとおり

### 4 今後のスケジュール

令和4年7月13日	長浜市政「挑戦と創造」の懇話会（素案説明）
令和4年7月21日	総合計画審議会（素案説明）
令和4年8月上旬	庁内照会、内容修正
令和4年9月定例会議会	パブリックコメント前報告（総務教育常任委員会）
令和4年9月下旬～10月中旬	パブリックコメント実施、最終計画案策定
令和4年10月下旬	総合計画審議会
令和4年12月定例会議会	最終計画案について議案提出

■長浜市総合計画第3期基本計画等策定スケジュール

		令和4年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本計画	市議会	【4月委員会】 ①着手説明		【6月議会】 ②経過報告				【9月議会】 ③パブコメ前説明			【12月議会】 ④最終案報告, 議決		
	総合計画審議会		5/24 第1回		7/21 第2回				10月下旬第3回				
	長浜市政「挑戦と創造」の懇話会			6/6 第5回	7/13 第6回								
	長浜市地域経営改革会議			5/30 第1回	7/7 第2回								
	タウンミーティング			5/30 若者対象 6/2 北部地域対象									
	市民意識調査		調査実施 4/25~5/9										
	パブリックコメント								パブコメ 9/21~10/14				
庁内組織	庁議・策定委員会 庁内調整	4/1①着手		5/27②経過報告			8/19③パブコメ前			11/2④最終案報告			
			計画案照会	ヒアリング			照会						
国土利用計画	市議会	【4月委員会】 ①着手説明						【9月議会】 ②経過報告			【12月議会】 ③パブコメ前		【2月委員会】 ④最終案報告
	総合計画審議会								10月下旬第3回				
	パブリックコメント									パブコメ 12月中旬~1月中旬			
	庁内組織	庁議・策定委員会 庁内調整					8月上旬関係課会議 8/19 庁議	関係課会議 照会		11/18 庁議		2/1 庁議	
	県調整	滋賀県協議								県調整 10月中旬			

## 第6回「挑戦と創造」の懇話会での主な意見

総合計画基本計画全体に関すること	
	・計画の方向性を事業者や市民と共有することが必要
重点プロジェクト全体に関すること	
	・重点プロジェクトを6項目から4項目に絞ったことで、より実現の可能性がある
	・重点プロジェクトとまちづくりの政策との連動性が必要。重点プロジェクトのどの部分に各課の政策が関係しているのかを見える化できるとよい。
①多様で柔軟な「働き方の創造」プロジェクト	
	・コロナ禍で働き方や考え方も大きく変化したが、小さい会社では、思うように世の中のスピードに追いついていないのが現状である。零細企業は変化に付いていくことが難しいので、スピード感を持って対策をしていただけたらありがたい。
	・都会は少し景気が戻りつつあるようだが、地方では観光もそれほど戻っておらず、稼ぐ観光は現状では難しいのではないかと感じている。
	・このプロジェクトの基本的方向に、「急激な社会変化に対応する柔軟性を支えるような仕組み」が書かれていない。そのような文言があると、既存の事業を展開している方にとっては非常に安心である。「創造する」という言葉が前面に出てしまっているので、「今の頑張ってる人たちを支える仕組み」があると安心するのではないか。
②長浜に人を呼び込む「活躍の場創出」プロジェクト	
	・大学の就職支援で県外企業を進められることが多いと思うので、大学と連携して、県内や市内の企業も選択肢に入れてもらえるように取り組んでいくことも必要。
	・高校や大学で転出した市民に帰ってきてもらうために、例えば、市内企業が長浜市出身者のエクスターンを受け入れ、交通費の補助やサテライトオフィスを活用して市内でも働けるとい実感をしてもらうなど、市の魅力を再発見できる機会をどれだけ作れるかが重要。
	・卒業式等の市長挨拶で、将来長浜市で働いてほしいというメッセージを出し、「自分たちは外で勉強した後に、地元で役に立つ」というイメージを持ってもらえるような働きかけをしてはどうか。
③子どもと若者を包括的に応援する「未来のこども育成」プロジェクト	
	・就学前の保育園、幼稚園と小学校の連携が必要であり、現場も市役所も、各セクションの垣根を取っ払うことが必要。
	・このプロジェクト内容に就職支援の項目も含まれているとよい。それが重点プロジェクト①多様で柔軟な「働き方の創造」プロジェクトに繋がる。
まちづくりの政策について	
	・「政策1 市民・自治」に位置付けている「男女共同参画の推進」の部分で、重点的に取り組む視点への追記はあるが、今後の主な取組や成果目標・目標数値への追記も必要ではないか。
	・「政策4 産業・交流」に位置付けている「地域ポテンシャルを活かした地域産業の活性化」について、今後の主な取組、成果指標・目標数値に大学連携に関する事項の記載があってもいいのでは。
	・大学と市で協定締結するなどしてベンチャー支援ができるとよい。
	・市の窓口コンシェルジュを設置して、長浜市の施策全体を通して何ができるのかについて対応できるようなワンストップ窓口があってもいい。
	・若者のライフスタイルが変わっていることに対して、地域や行政、高齢層が付いていけない。これまでの考え方や発想を根本的に変えて取り組むことで、より魅力的なまちになり、それが長浜ではできる。